

つくば市イメージキャラクター フックン船長

もっと知りたい!

第44号

つくば市 ばん

# かわら版



つくば市長 五十嵐立青

2025年4月1日

皆さんのギモンに市長が答えます

## 今回のテーマ 校内フリースクールについて知りたい!

問 ▷学び推進課▷教育相談センター ☎029(866)2211



フリースクールって言葉を最近よく聞くけれど、何ク?

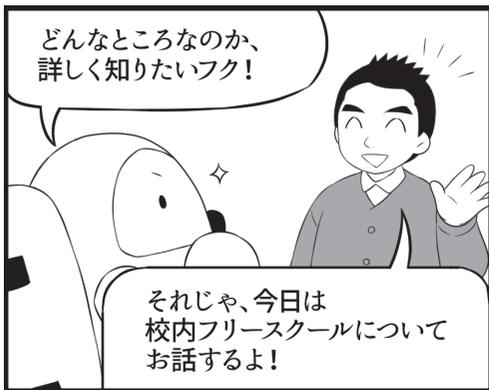
フリースクールというのは、学校に行きづらい、教室にいけない子どもたちが、自分のペースで過ごすことができる居場所だよ



つくば市では、全ての小中学校・義務教育学校の校内にフリースクールを開設している、

子どもたちが安心して過ごせるように、さまざまな工夫をしているよ

全部の学校にあるク!?



どんなところなのか、詳しく知りたいク!

それじゃ、今日は校内フリースクールについてお話するよ!

ギモン

### 01 校内フリースクールについて教えて!



学校に行きづらい子どもが増えてきているの?



はい。2023年度の文部科学省の調査では、全国の小・中学校で過去最多の346,482人の不登校児童生徒がいるとされ、約26人に1人は不登校になっています。つくば市では、2023年度の不登校児童生徒は減少しましたが、まだまだ支援が必要です。

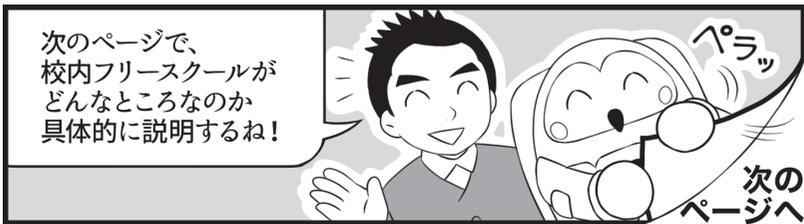
不登校とは、病気や経済的な理由による欠席を除き、年間30日以上欠席が続いている状態とされています。元気に学校に通っていた子どもでも、ある時不意に外出に不安を覚えて登校しづらくなるなど、誰にでも起こり得ることなんです。その原因は一つではなく、背景や要因が複雑に絡み合っています。具体的な理由が分かる場合もありますが、そうでない場合も数多くあります。そのため、どのような背景があっても、学校に行きづらい子どもや教室にいけないと感じる子どもを安心できるようにサポートすることが大切です。



どうして校内フリースクールを設置したの?



不登校児童生徒とその保護者を対象にアンケートを実施した結果、児童生徒からは「好きな勉強ができる学校(64.6%)」「ゆっくり休める場所がある学校(64.0%)」なら行きたいといった意見がありました。また、保護者からは「勉強を教えてくれる場所(64.9%)」「自由に過ごせる場所(65.8%)」で過ごしてほしいという意見が寄せられました。このアンケート結果などを踏まえて、2022年から校内フリースクールの設置をはじめ、2024年度に県内で初めて市立学校全校に設置を完了しました。



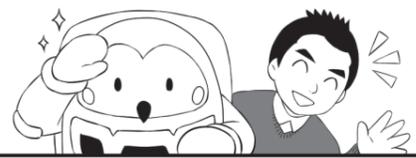
次のページで、校内フリースクールがどんなところなのか具体的に説明するね!

パラッ

次のページへ

# 校内フリースクールってどんな場所なの?

いろいろな機能があるフクね!



学校ごとにさまざまな工夫をしているよ!

問 ▷学び推進課  
▷教育相談センター ☎029(866)2211

## どのような目的で設置しているの?

校内フリースクールは、学校や教室に行きづらい子どもたちが安心して過ごせる居場所の選択肢を増やすことを目的としています。校内フリースクールを自由に過ごせる場所・ゆっくり落ち着ける場所、好きな学習ができる場所として利用してもらい、子どもたち一人一人の能力や個性に合わせた成長を促していきます。在籍学級に戻るだけでなく、子どもが自己肯定感を高め、社会的に自立するための支援をしたいという思いで運営しています。

## どのように利用するの?

校内フリースクールの利用を希望する場合は、まず先生に相談します。どのような場所か知りたい場合は、利用前に見学することもできます。校内フリースクールでは、学習の進め方や自由時間の過ごし方などを子どもたちが支援員などと相談しながら決めていきます。

支援員などと相談しながら一日の過ごし方を決めます

在籍学級で受けたい授業があれば、オンラインや教室で参加できます

給食を食べられます



## どんな人たちが関わっているの?

校内フリースクール専任の職員である「支援員」「補助員」と、教員から選ばれる「担当教員」が連携し、互いに情報共有をすることで、子どもたちに最適なサポートができるようにしているんですよ。

**支援員** 教員免許を持つ職員です。子どもたちの学習支援や困りごと・悩みごとの相談支援を職員・教員の中心となって行っています。

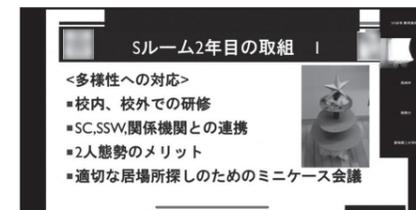
**補助員** 子どもたちの相談に乗る・室内環境を整えるなど、校内フリースクールの運営をサポートしています。

**担当教員** 支援員・補助員と一緒に子どもたちの支援や、担任の先生などと情報連携を行い、校内フリースクールの円滑な運営を支えています。

## 校内フリースクール研修会

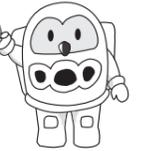
子どもたち一人一人に合った支援ができるよう見識を深めるため、支援員、補助員、担当教員に向けた校内フリースクールについて学ぶ研修を年6回程度行っています。

1月28日のオンライン研修では、子どもの支援のポイントについてのスクールカウンセラーによる講義と、代表校2校による校内フリースクール運営の工夫についての発表を行いました。▶



## 先生たちにインタビュー

校内フリースクールに関わっている教職員に、校内フリースクールの良いところなどを聞いてみたフク!



### 支援員・補助員の声

学校に行きづらいと感じている子どもが減った実感があります。一人で登校するのが難しい子どもや、教室に今はいたくない子どもの一時的な居場所としても活用しています。一方で、在籍学級の先生やスクールカウンセラーとの連携の取り方、保護者との面談設定を、もっと工夫していきたいと思っています。

### 担当教員の声

不登校気味だった生徒が校内フリースクールでの生活を通じて、他の生徒や先生とコミュニケーションを取れるようになり、その生徒の自信につながりました。家や在籍学級以外に居場所があることで救われる生徒がいると実感しています。

## 実際に中を見てみたい!

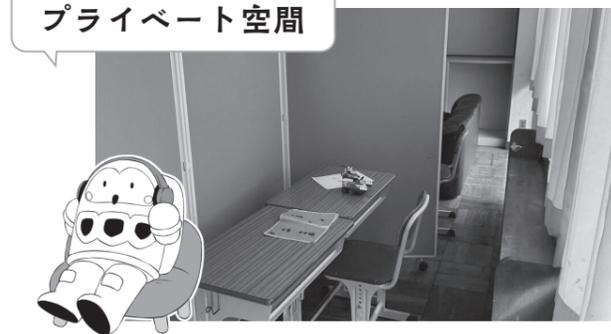
それぞれの学校で、空間づくりにはさまざまな工夫をしています!その一例を紹介しますね。

### 学習スペース



好きな勉強ができるよう、学習スペースを用意しています。興味のある分野の勉強をしたり、本を読んだりすることができます。

### プライベート空間



一人になりたいときに過ごせる空間を用意しています。パーティションなどで壁を作ること、周りの視線を気にせず落ち着いて過ごすことができます。

### 交流スペース



校内フリースクールに通う仲間たちと自由に交流できる空間です。子どもたちでレイアウトを決めている学校もあります。

### 専用の入口



昇降口とは別に、校内フリースクールに直接入れる専用の入口を用意している学校もあります。

ギモン

# 03 どんな居場所を目指しているの？

つくば市教育大綱では、「一人一人が幸せな人生を送ること」を最上位の目標としています。また、学校は「みんなが幸せを実感できる学校づくり」をキーワードに、みんなで支え合い、一人一人が自己実現できる魅力的な場所を目指しています。そのためには、子どもたちの個性・思いやペースの違いを捉えて柔軟に対応し、登校したくなるような学校づくりが必要です。校内フリースクールは、学校に行きづらい、教室にいづらいつらと感じる児童生徒が安心できる居場所になればという思いで作りました。学校が、全ての子どもたちの気持ちに寄り添い、心身の安定を図りながら、自己肯定感を高められる場所になるよう、これからもさまざまな取り組みを進めていきます。

## 校内フリースクールの取り組みは 始まったばかりです

児童生徒、教職員、保護者など、皆さんの声やニーズを聞きながら、より子どもたちの個性や気持ちに寄り添えるような場所にしていきます。

## 他の不登校児童生徒支援の取り組み

校内フリースクールを利用できない子どもたちの学びや居場所を支援する他の取り組みにも力を入れています。

### 民間不登校児童生徒支援事業 利用者支援交付金

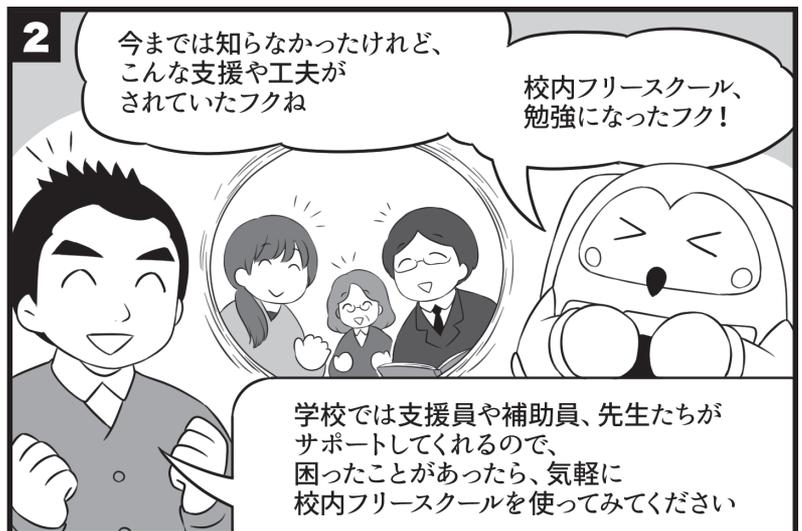
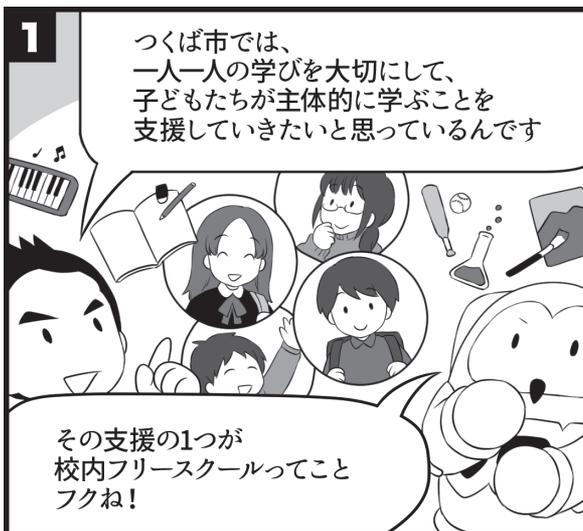
学校に行きづらい子どもたちの学びを支援するため、民間のフリースクールの利用料に対して、1人当たり月額2万円を上限に交付しています。

### 教育支援センター

教育相談センター〔沼田40-2〕内にある「つくしの広場」や、4月から大穂交流センター〔筑穂1-10-4〕内にある「ひだまり広場」では、学校に行きづらい子どもたちの居場所を提供しています。



教育相談センター▶



## アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、「もっと知りたい!つくば市かわら版 第44号」をお読みになったご感想などをお寄せください。(各号ごとのアンケートとなります)



▶ <https://r.qrqrq.com/LA2ORYp0>

※個別の質問にお答えすることはできません。

パソコン スマホ



でつくば市かわら版をいつでもどこでも!

市ホームページ



マチイロ



市公式YouTube

